



落語芝居

お伽座年末公演

《脚本・演出》

関本三芳

《出演》

カオル  
 岩本あちゃこ  
 高橋るり  
 安田喜貴  
 大久保琢弥  
 倉前泰明

《特別出演》

落語長屋おもひろ荘

車家小円 (11月30日のみ)

噺家笑蔵 (11月29日、12月6・7日)

落語：狸賽・芝浜より

イラスト・カオル

＜ご予約はお早めをお願い致します＞

チケット 大人 2500円

中学生以下 1500円

(当日300円増)

※開場は開演の30分前

11月	29日(土) 18時開演	30日(日) 14時開演
12月	6日(土) 18時開演	7日(日) 14時開演

会場：劇団お伽座

〒369-1224 埼玉県大里郡寄居町鉢形248-4

お問合せ：048-581-7449

去年の暮れに『古い婆さん遊々噺』を公演してから、一年間「無沙汰してしまいようやくこの年末に『落語DE芝居』の上演に漕ぎつけることができました。前回もそうでしたが、古典落語をお芝居にして「ごらんいただきませぬ、さして、人には笑いは付きものです、そして、笑いを嫌う人は極わずかいるかもしれませんが、大抵の人は笑うことが好きです。どうも笑わなくなると、ぎくしゃくとして物事がうまく回らなくなってしまう、それから気持ちよく笑うことは、とても健康に良いことも、分かっています。笑うことは、人にとってどうしても不可欠なものなのでしょう。しかし笑うことはともかく、人を笑わせる、ということは簡単なようではなかなか難しい。面白い芝居で、心の底から笑って頂けるように心がけてはいるのですが、どうも笑わせようとするほど力が入って「あざとく」なる。どうも、この劇団は「笑わせる」のではなく「笑われてしまう」方が性に合っているのだ、それは嫌でも出来ることだし、演ずる側も、力が抜けて自然になれるのではないか、そう思うようになりました。人に笑われることは、悲しいことでもあるのですが、まあその位は当然として、お客様に笑って頂けるなら致し方ないことでございます。

かつて、明治生まれの、埼玉県出身で、数多くの黒沢明の映画に出演した「左ト全」という喜劇俳優がいました。年配の方なら必ず「記憶にあらうか」と思われます。「七人の侍」では、農民の与平役「生きる」では、市民課、課員小原「どん底」では年寄りの巡礼役、名作と呼ばれる映画には必ず出演していました。そして、その飄々とした演技は、何時でも黒沢映画の張り詰めたシーンの中で、ほのぼのとした笑いかもし出してました。「左ト全」が登場するだけで、心がなごみほっとして、何故か笑ってしまうのです。今頃になって、この演技、「演技」と言うものなのか、かもし出されるものが、どこから生まれるのか、どうも気がかりでしかたありません。七十七歳で生涯を閉じるまで喜劇役者として貫き、追い求めた笑いには、到底及ばないことは承知ですが、一歩でも近づけるようにお伽座も、日々精進してまいりたいと思います。

この度は、熊谷で活躍なさっている「落語長屋おもしろ荘」、車家小円、噺家笑蔵の、お二人が落語で公演に花を添えてくださいます。噺家笑蔵は、前回の芝居で、蘭学の医者役で出演いたしました。また「古い婆さん」を見て、落語を芝居にすることに共感した倉前泰明が、お伽座に飛び込んで、初めての芝居に挑戦し、中々の怪優ぶりを発揮しております。動物専門の新人役者、大久保琢弥、十数年のブランクを乗り越えて復帰した安田喜貴、お馴染みのお伽座の面々も張り切っております、どうぞ「ご期待ください」。

〒369-1224

埼玉県大里郡寄居町大字鉢形248-4 TEL : 048-581-7449

東武東上線「鉢形駅」徒歩5分 関越自動車道花園インター下車。

国道140号線玉淀大橋を小川方面に左折（254号線沿いセブンイレブン横入る）

